

防犯情報配信システム

防犯情報配信システムとは

現在、各都道府県警や各地の警察署、地方自治体、教育委員会、学校、コミュニティ等を主体として、不審者情報や犯罪発生情報の共有や防犯意識の啓発などを目的とした、様々な防犯情報の配信が行われている。これらのメールシステムの呼称は、「防犯情報配信システム」「防犯メール」「犯罪情報メール」など、地域によって様々である。

また、不審者情報や犯罪発生情報をタイムリーに配信するタイプと定期的に配信されるタイプ、もしくは不定期的に防犯意識啓発のために配信されるタイプなどもある。

タイムリーな不審者情報や犯罪発生情報にも多少のタイムラグはあるが、地域住民がそういった情報を共有することで地域全体の防犯意識が高まり、皆がある程度の危機感を持って生活することは、日常的な防犯対策になると言われている。

警察による防犯情報配信システム事例

●メールけいしちょう（警視庁）

平成20年4月1日から警視庁による防犯メール配信サービス「メールけいしちょう」がスタートしている。この防犯メール配信サービスの特徴は、事件などの発生場所付近を地図情報で確認できる他、配信した事件や不審者情報に対して、登録者からの情報提供が可能であることである。さらに、登録者は、配信情報を自由に選択することもできる。

また、よりタイムリーに防犯に役立つ情報を周知させることができるよう、事件が発生した場合に各地域の警察署から直接メールを配信できるシステムを採用したものである。

●ピーガルくん 子ども安全メール（神奈川県警）

平成20年10月1日、神奈川県警が全国で初めてスタートさせた、子どもの安全情報に絞られた防犯メール配信サービスである。

そのほか、都道府県警察本部が配信している防犯メールには、次のようなものがある。

●都道府県警察本部が配信している防犯情報配信システム事例

北海道警察	「ほくとくん防犯メール」
青森県警察	「青い森のセーフティネット」
茨城県警察	「ひばりくん防犯メール」
埼玉県警察	「犯罪情報官 News」
山梨県警察	「ふじ君安心メール」
長野県警察	「ライポくん安心メール」
愛知県警察	「パトネットあいち」
京都府警察	「防災・防犯情報メール」
大阪府警察	「安まちメール」
兵庫県警察	「ひょうご防犯ネット」
和歌山県警察	「きしゅう君の防犯メール」
島根県警察	「みこびー安全メール」
岡山県警察	「ももくん安心メール」
広島県警察	「広島県警察メールマガジン」
徳島県警察	「安心メール」
香川県警察	「安全・安心ヨイチメール」
愛媛県警察	「安全・安心メールマガジン」
福岡県警察	「ふっけい安心メール」
佐賀県警察	「防災・安全・安心メール」
長崎県警察	「安心メール・キャッチくん」
熊本県警察	「ゆっぴー安心メール」
沖縄県警察	「安全・安心情報メール」

上記以外にも、地域住民に配信されている防犯メールには様々なものがある。自分の地域の警察や行政・学校などに問い合わせ、防犯メールを受信できるように登録しておくとい。

地域安心安全情報共有システム

総務省及び地方自治情報センターでは平成16年度より、インターネットや携帯電話等を使い、住民が地域の安心安全情報を共有する「地域安心安全情報共有システム」の開発・実証を行った。

このシステムの機能の中にもメールで防犯情報を配信する機能が含まれているが、そのほかにもネット上の掲示板で防犯情報を入手したり、地図情報で犯罪発生情報を確認したりすることもできる。平成17年12月の総務省の発表によると、全国で49団体が導入したと報告されており、検証終了後も一部の地域では引き続き利用されている。

○岩舟町地域安心安全情報共有システム

（栃木県下都賀郡岩舟町）

https://iwa-anshin.jp/anshin/riyoukiyaku_.html